

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	15	学校名	静岡県立御殿場南高等学校	記載者	渡辺 洋介
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）      %値は、目標値、生徒回答、保護者回答 の順

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	<p>・南高に入学して充実した高校生活を送っている。</p> <p><b>90%, 89.6%, 92.6%</b></p> <p>・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。</p> <p><b>80%, 75.1%, 80.2%</b></p> <p>・県・東海・全国大会への出場</p>	A	A	<p>・学校のHPやインスタ等で目標に向かって学校行事や部活動に取り組む様子が見られる。</p> <p>・課題や目的の意図を理解する力を身に着けることで、自分の行動や考えに自信が持てるようになり率先して、活動している。</p> <p>・文武両道に努める生徒が多い。</p>
イ	<b>教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。</b>	<p>・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。</p> <p><b>90%, 82.0%, 65.3%</b></p> <p>・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身につけている。</p> <p><b>90%, 89.0%, 70.3%</b></p> <p>・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。</p> <p><b>90%, 87.6%, 82.8%</b></p>	B	A	<p>・学年が上がるごと、生徒の自己評価が上がっている。各学年での取り組みの積み重ねによる成果が表れている。</p> <p>・上級生になるにつれて、自分の考えを主張できるようになっている。</p> <p>・成果目標値に達している。</p> <p>・概ね達成している。</p>
ウ	<b>「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習におけるICT機器の効果的な活用を一層推進する。</b>	<p>・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身につけている。</p> <p><b>95%, 88.3%, 77.7%</b></p> <p>・全国水準を上回る学力を身につける。</p> <p>・国公立大学現役合格者数40名以上</p> <p>・家庭学習時間1日平均2時間以上</p> <p>・教科学習におけるICT機器の効果的活用</p>	B	B	<p>・家庭学習時間の確保が大切。</p> <p>・学習成果を上げるためには学習の質は重要であるが、まずは学習時間を確保しなければ、その質も追求できない。学校側の課題に書かれているように、学習時間をいかに確保し、生徒の生活のルーティンに組み込むことができるか検討する必要がある。</p> <p>・国公立進学だけが目標ではなく、将来の目標に合った自力を身に着けることが重要。</p>

様式第5号

エ	<p>品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切に作る心身の健康や安全、防災についての意識を高める。</p>	<p>・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。  <b>90%, 90.6%, 87.9%</b>                  ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができてきている。  <b>80%, 76.2%, 63.3%</b>                  ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守                  ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成</p>	B	B	<p>・「校則やルール～」は目標値に達しているが、「時間的自己管理～」は、目標値よりやや低い。その要因はどこにあるのか、振り返りが大切。                  ・スマホの使用を含め、学生としての行動を見直し、自己管理していくと良いのではないかと。                  ・学校訪問の際の挨拶など、基本的マナーの良さを感じる。                  ・社会的なマナーやモラルは、どこまで学校で指導することなのか。家庭との連携が必要だと思う。</p>
	<p>健康教育、交通安全教育を推進する。                  防災教育を実施する。</p>	<p>・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。  <b>90%, 91.5%, 79.0%</b>                  ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる  <b>90%, 95.5%, 91.8%</b></p>	A	A	<p>・安全や健康に対する意識も高く評価できる。                  ・R8. 4. 1 から道交法が改正され、自転車は「軽車両」という意識と安全ルール遵守が求められ、今後も安全教育の継続が必要である。                  ・いつ発生するかわからない災害や事故には、高校生の手助けが必須。ボランティアの心を、更に育んでほしい。</p>
オ	<p><b>SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。</b></p>	<p>・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。  <b>90%, 90.8%, 82.3%</b>                  ・1 部活動1 ボランティア（地域交流活動）</p>	A	A	<p>・探究学習を経験することは大事である。                  ・探究活動は、社会で求められるコミュニケーション能力や主体性、実行力にも繋がっている。                  ・地元を知ろうとしている。</p>
		<p>・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。  <b>85%, 80.4%, 63.5%</b></p>	B	A	<p>・学校以外で高校生が芸術に触れる機会は少なく、学校で機会を設けることは素晴らしい。                  ・文化や芸術に接することは学校以外での関りにも、大きく影響する。学校の取り組みとしては達成できていると考える。</p>
カ	<p>自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。</p>	<p>・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。  <b>85%, 80.4%, 72.3%</b></p>	B	A	<p>・地域の方に支えられていることを実感として生徒も感じることができている。                  ・学校教育の中で企業や外部機関と交流し、社会と関わる機会が設けられており、社会の仕組みの理解に役立っている。</p>

様式第 5 号

キ	<p>環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。</p>	<p>・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。  <b>95%, 93.5%, 80.5%</b>          ・定期点検月 1 回、随時点検</p>	B	A	<p>・しっかり管理できている。          ・清潔に保たれている。          ・物を大切に扱うことはもちろんですが、破損してしまったときにも真摯に対応できるようになってほしい。</p>
		<p>・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。          ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化</p>	B	A	<p>・外部指導者の支援などを取り入れ、学校運営に効果的な人材の活用ができている。          ・今後、生徒や学校が求める指導者の確保や確認方法はどのようにしていくのか、そもそも希望する人材がいるのか、心配である。そのときこそ、協議会の委員に声をかけてほしい。</p>